【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成24年10月18日(2012.10.18)

【公開番号】特開2011-232661(P2011-232661A)
【公開日】平成23年11月17日(2011.11.17)
【年通号数】公開・登録公報2011-046
【出願番号】特願2010-104676(P2010-104676)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　26/12　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　13/00　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　 2/44　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　 1/113　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　26/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　26/10　１０３
Ｇ０２Ｂ　13/00
Ｂ４１Ｊ　 3/00　Ｄ
Ｈ０４Ｎ　 1/04　１０４Ａ
Ｇ０２Ｂ　26/10　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成24年9月4日(2012.9.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
第１方向と、前記第１方向に直交する第２方向とに被検面を走査する２次元走査装置であって、
光を出力する光源と、
前記被検面に対する前記第１方向および前記第２方向を走査する走査光学系と、
前記第１方向と前記第２方向とでパワーが異なる第１レンズと、
前記第１方向と前記第２方向とでパワーが異なる第２レンズとを備え、
前記走査光学系が、前記第１レンズと前記第２レンズとからなるレンズ群より前記光源側に配置され、
前記レンズ群が像側テレセントリックであり、
走査方向が前記第１方向である場合の前記第１レンズの焦点距離をｆ１ｘとし、走査方向が前記第２方向である場合の前記第１レンズの焦点距離をｆ１ｙとし、走査方向が前記第１方向である場合の前記第２レンズの焦点距離をｆ２ｘとし、走査方向が前記第２方向である場合の前記第２レンズの焦点距離をｆ２ｙとしたとき、下記の式（１）および（２）を満たす
（１）｜ｆ１ｘ／ｆ１ｙ｜　＜　１
（２）｜ｆ２ｘ／ｆ２ｙ｜　＞　１
ことを特徴とする２次元走査装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０００９】
上記目的を達成するために、本発明に係わる２次元走査装置は、第１方向と、前記第１方向に直交する第２方向とに被検面を走査する２次元走査装置であって、光を出力する光源と、前記被検面に対する前記第１方向および前記第２方向を走査する走査光学系と、前記第１方向と前記第２方向とでパワーが異なる第１レンズと、前記第１方向と前記第２方向とでパワーが異なる第２レンズとを備え、前記走査光学系が、前記第１レンズと前記第２レンズとからなるレンズ群より前記光源側に配置され、前記レンズ群が像側テレセントリックであり、走査方向が前記第１方向である場合の前記第１レンズの焦点距離をｆ１ｘとし、走査方向が前記第２方向である場合の前記第１レンズの焦点距離をｆ１ｙとし、走査方向が前記第１方向である場合の前記第２レンズの焦点距離をｆ２ｘとし、走査方向が前記第２方向である場合の前記第２レンズの焦点距離をｆ２ｙとしたとき、下記の式（１）および（２）を満たす
（１）｜ｆ１ｘ／ｆ１ｙ｜　＜　１
（２）｜ｆ２ｘ／ｆ２ｙ｜　＞　１
ことを特徴とする。